

特集 議会を傍聴して

今回は、ワイラジオの放送番組審査委員会委員の秦野完治はたのかんじさんに議会を傍聴していただき、感想とご意見を伺いました。



秦野 完治さん

心しました。

議場を見て気が付いたのは、傍聴席が高い位置にあり、各議員の表情が見づらいのが残念でした。

質疑を聞いていて、答弁者が非常に分かりやすく答えていたのですが、質問者と答弁者は事前に打ち合わせをしているのでしょうか。

それと時計の表示がありました。時間の制限などはどうなっているのでしょうか。

■事前に質問や答弁の打ち合わせはしていませんが、一般質問では、どんな質問をするかを文書で通告しています。

■一問一答になったことで、2回目以降の質問に着目していただきたいのですが、制限時間は質問者の発言時間が30分以内です。

■質問者はこの30分で引き出した答弁を得るために戦略を練って臨んでいます。

■議会を傍聴しての感想をお伺いします。

秦野 今回初めて一般質問を傍聴しました。ふたりの議員の質問を拝見し少数意見と思われる題材を掘り下げて質問していたことに感

秦野 なるほど。よくわかりました。

■伊達市に対する要望などありますか？

秦野 私は洞爺湖町出身ですが、伊達に住んでみてここはとても良い街だと感じています。

ただ、市内で飲食業を営んでいますが、伊達市全体が元気を失っています。非常に寂しくなると実感しています。

そこで、例えば西胆振3市3町で連携したイベントをするとか、少子化対策として出産時の費用負担を軽減させるとか、義務教育期間は教育にかかる費用を無償にするなど考えて欲しいです。

それと高齢者が充実した生活を送ることができる場所であってほしいです。

さらに、私はワイラジオの番組審査委員会委員で、番組制作ボランティアとしても活動していますが、もっと放送を聞いてもらいたいですね。

■ワイラジオについてももう少し詳しく説明していただけますか。

秦野 ワイラジオは2年前に伊達市・壮瞥町・洞爺湖町・豊浦町を放送エリアとし、災害時の有効な情報を速やかに伝えることを目的に1市3町が出資して設立したものです。災害時に聞いてもらえるように日頃からワイラジオの存



ワイラジオのスタジオ風景

在を知ってもらいたいです。

また、普段の放送は地域に密着した、きめ細やかな情報を届けたと考えています。

しかし現時点ではまだそれができる体制が整っていません。

もしも今日有珠山の噴火や台風、大雪等の自然災害がおきたとしても、ワイラジオを活かす体制になっていないのが現状であり、課題といえます。

■そのために具体的にどうしたらいいと思いますか。

秦野 現在は番組のスポンサー集め等営業活動も自分でやっていますが、なかなか苦労しています。

現在担当している番組は、「だてラジオ宅配便」(毎月第4水曜日12時30分〜)これは伊達市の提供番組で、伊達市の元気を伝えるというコンセプトで、開局以前から4年目に入る番組です。

もう一つは「KanzkyのMusic Mountain」(毎週月曜日14時〜)こちらは古き良き音楽をお届けしている番組なのですが、少しでも

多くの市民に楽しんでもらいたいという気持ちで、自らスポンサーとなり、1市3町を走り回っているいろいろな方にゲスト出演してもらい、番組制作をしております。

■広く聞いてもらうために我々が何かお手伝いできることはありますか？

秦野 議会を傍聴して思ったのですが、議員の活動や思いをもっと伝えるべきだと感じました。

そこで、議員さんがラジオに出演してもらうような企画も面白いと思います。

例えば、一般質問が終わってから質問者が解説するとか、議会の出来事を説明するとかもよいのではないのでしょうか。

■面白いですね。

我々議会側も議会の内容を市民に広く伝えたいので、議会側としてもワイラジオ側としてもお互いにメリットのある話のように思っています。

ぜひ実現したいですね。

秦野 いいですね。何か企画を練ってみます。

■ありがとうございました。



左から、阿戸委員長、秦野さん、佐藤副委員長

※ワイラジオとは…

WEST IBURIの頭文字の略であり、伊達市・壮瞥町・洞爺湖町・豊浦町の1市3町を放送エリアとしたコミュニティFM放送です。周波数は77・6MHzです。

FMびゅーとワイラジオは番組を共同制作、共有することで24時間365日放送する体制を取っています。

FMビューの周波数は84・2MHzで、通常時は2つの周波数で同じ番組を聞くことができます。

